

委員からの意見(第5回協議会)

箇所	協議会における意見
タイトル	
-	基本方針に合わせて「府中市市民協働の推進に関する行動計画」とすれば、すっきりする。
-	「市民協働で創る府中市民のためのみらい」あなたにも関係がある、府中市民のための、ということを強調したい。
-	「市民の市民による市民のための行動計画」
第1章 計画の概要	
5 施策体系図	施策の後に、ページ番号を追加すると分かりやすい。
5 施策体系図	色分けすると、より分かりやすい。
第2章 具体的な施策	
推進方策1 (1) 市民協働に関する効果的な啓発・PR活動の推進	地域に貢献した協働の活動を表彰するとやる気がでると思うので、表彰制度提案する。
推進方策1 (2) 新たに協働に取り組もうとする市民への参加の機会づくり	文章「～意識を醸成します。」はあまり意味が無いので、具体的に何をするのか記載してほしい。
推進方策1 (4) 大学・学生との協働の推進	内容の冒頭「大学（学生サークル、学生グループ等を含む。）と～」は、目標の表現と合わせて、「大学・学生と～」とするとよい。
推進方策3 (2) 情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充	双方向からもっと範囲を広げて、ネットワークというかたちで、誰にでも閲覧できるようにしてほしい。
推進方策3 (2) 情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充	J:COMを活用してビデオを作り、市民協働の事例集を開示してほしい。市での助成も検討してほしい。
推進方策4 (1) 中間支援組織の支援	協働は行政が中心となってコーディネートしないと、うまくまとまらない。現在あるNPO・ボランティア活動センターを、強化・充実させて、市がバックアップする体制にした方がよいのでは。中間支援組織がいくつもあると、市民には分かりにくい。
推進方策5 (2) 既存公共施設の協働拠点化の検討	(1) 下の「市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映」と、(2) 「既存公共施設の協働拠点化の検討」の違いがはっきりしない。拠点という言葉の定義があれば、混乱が避けられるのでは。
推進方策6 (1) 市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みの検討	「市民活動推進基金」の用語解説が必要。
第4章 計画のスケジュール	
-	「検討」という表現を、もっと前向きなものに変更できないか。
-	「検討」した結果を、どのように市民に報告するのか。
推進方策5 (2) 既存公共施設の協働拠点化の検討	「検討」「継続検討」ではなく、すぐにでもやってみることが重要。
その他	
全体	カラー印刷の方が分かりやすい。